

### 信仰によって

(ヘブル11・8〜10)

#### 一、信仰と信念

「信仰」は理解しにくい言葉かと思えます。「信仰」は創造主なる神を意識して、はじめてしつくりするからです。一方の「信念」は神を意識しなくても理解できる言葉です。キリスト者は、(エペソ5・20いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によつて父なる神に感謝しなさい。〜)とありますように、いつも神を意識して生きており、行っています。これが、信仰です。一方の「信念」は、自分自身で考え、かたくなに貫いていくことです。私共が聖書から、救い主イエス・キリストから教えられるのは「信仰」です。そういうわけで、信仰とは何なのかについてご一緒に教えられたいと思います。

#### 二、「信仰によって」

きょうは『2018聖書愛読こよみ』にそいまして、ヘブル人への手紙11章を開いておきます。11章には「信仰によって」という言葉が多く現れます。旧約の人々はふつう、こういう表現法を使いませんでした。詩篇や箴言を見ると分かります。1行目と2行目が、同じことが語られているのに、別の言葉で表現されています。たとえば、詩篇49篇1

節です。(すべての国々の民よ。これを聞け。世界に住むすべての者よ。耳を傾けよ。〜)とあります。1行目と2行目は同じことを別の言葉で語っています。あるいは、箴言16章18節です。(高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。〜)とあります。こちらも、1行目と2行目は同じことを別の言葉で語っています。こういう流れから見ますと、きょうの聖書箇所にくり返し現れる(信仰によって)は、旧約の人々の言葉遣いと異なります。ヘブル人への手紙の著者は、旧約聖書に精通していました。幕屋の構造を始め、旧約時代の儀式についての知識も持っていました。旧約聖書の表現方法についても——すなわち、1行目と2行目が同じことが語られているのに、別の言葉で表現するという表現法——知っていたと思われま

す。なぜでしょうか。信仰の大切さを訴えるためです。

#### 三、信仰とは何か？

そこで、ご一緒に考えてみましょう。信仰とは何でしょうか。信仰とはイエス・キリストを信じることです。では、イエス・キリストを信じるとはどういうことでしょうか。これを知るために、新約聖書で「信仰」と訳された言葉を見て行くことにします。「信仰」は「ピス

テイス」です。「ピステイス」は「信じること」の意味です。すなわち、神が遣わされた救い主イエス・キリストを信じることです。ですが、「ピステイス」にはもう一つのたいせつな意味があります。それは「真実」です。神への真実です。すなわち、神の前には隠し事をせず、自分をこまかさず、正直に生きることです。立派でなくても良いのです。正直に生きる。これが信仰です。

そういうわけで、新約聖書から学んだ考え方により旧約聖書の人物一人ひとりばかりにかけて、この人は信仰的だったかを測ることが出来ます。ひいては、自分が信仰に立っているか否かを測ることが出来ます。

ヘブル人への手紙の著者は、信仰によって歩んだ人として、アベルを挙げています(11・4)。次に、エノクを挙げています(11・5)。次に、ノアを挙げています(11・7)。そして、アブラハムを挙げています(11・8〜12)。ご存じのように、アブラハムは自分の命を守るために、妻サラの身を危険にさらすという、やっつてはならない過ちを犯しました。ですが、主が語られた言葉「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。」(創世記12・1)をたいせつにしました。そういうアブラハムを思い起こして、著者は語っています。8節です。(信仰によって、アブラハムは、

相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。〜)と。アブラハムは主が与えると言われた土地カナンに入りました。ですが、外国人のように生活をしました。妻サラが死んだ際、サラを葬るためにヘテ人から土地を買ったことが記されています。9節に書かれています。

〈信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。〜)と。アブラハムは、他国に宿るようにして約束の地に住んだのです。定住するために、町をつくりませんでした。なぜ、そうしたのでしようか。10節に書かれています。(彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。〜)とあります。アブラハムは目に見えるものに執着していませんでした。目に見えるものはどうでもよい、と考えていたのではありません。目に見えるものは、神が造られたものですからたいせつです。ですが、アブラハムが見ていたのは、天にある都でした。そこは神が設計し、神が建設される都です。究極の約束の地です。

信仰は自分の信念で歩むことではありません。イエス・キリストを信じることであり、その思いは神から来ます。